

ちよつとい話

～ 照らし給え ～

21年12月1日

いよいよ12月に入りました。今年を振り返ってみますと、リーマンショックで明け日本も経済的ダメージを大きく受けました。車、家電等に国の補助対策が施され国民のマイナスが少しは緩和かんわされたかに見えますが、国の経済は相変わらず綱渡り状態のままです。何時不渡りいつふわた国家になっても可笑しくありません。少子化の影響で医療費、介護、福祉に膨大な費用ぼうだいが掛かるようになり日本の国家予算も大変です。経済的には今の処、中国の独り勝ちのようです。六月には全盲のピアニスト辻井伸行氏が第13回ブアン・クライバーン国際ピアノコンクールで優勝されました。十月にはオリンピック開催地選びに日本は敗れ、ブラジルに決まりました。九月にはイチロー外野手の9年連続200本アンダ新記録達成、十一月にはワールドシリーズでヤンキースの松井秀喜氏が日本人初のMVPに輝きました。今年の芸能界は六月に大物のマイケルジャクソン氏、十月には円楽師匠が十一月には森繁久彌氏（国民栄誉賞）が亡くなりました。当山では前住職善覚老師の一周忌法要を厳修致しました。九月には政権も自民党から民主党に変わり、色々様変わりしました。又、今年には天皇陛下御即位20年、天皇、皇后両陛下御結婚50年、国民にとってもお目出度い出来事でした。

道元禅師は「しるべし、愛語あいごは愛心あいしんよりおこる、愛心は慈心じしんを種子しゆしとせり。愛語よく回天のちからあることを学がくすべきなり」と示されています。言葉には非常に重みがあります。愛語は我々の人生を左右する力を持っています。しかし、話し方よに因よっては変わってしまいます。受け取る方かたがダメージを受けたり、憤慨ふんがいされたり、反対に感謝されたりと反応が著しく異なってしまいます。一度発した言葉は取り返しがつきません。今年の大晦日おおみそかには全員が仏壇の前に集合し、一年の締めとしてお互いに感謝の意を表し合い「ありがとう」と言って終わりたいものです。来る平成22年は「我が身みにも、諸人しよじんにも善よき法のりの道、照らし給え、導き給えと」願うのみです。それは虎の尾を踏む事もなく、虎の威を借る狐にもならず、22は22と呼び、夫婦と結ばれ、夫婦から子供の誕生を機会に親となり、やがて家族の中心から長老へと立場を変えて活躍していきたいものです。家門の繁栄を祈念致しております。

善壽界善入院油掛地藏尊